



※写真は昨年度の座談会の様子です。

代官山 MEDICAL 2020/7/2,7/3,7/4 開催

卒業生による 2020 年度合格座談会

3 日間にわたり総勢 44 名の先輩からアドバイスとエールを頂き、
本年医学部を目指す生徒たちの刺激と励みになりました！！



※写真は昨年度の座談会の様子です

3 日間でご協力いただいた先輩方 44 名

自分の言葉で紡ぎ出す勝利の言葉。

在校生からの質問にも温かく対応！緊張しながらも合格への熱いメッセージをくれました。

今回は 8 名の経験を掲載！

合格の秘訣, ノートの取り方, 生活習慣 etc. . . .

夏も残り僅かのこの時に聞きたい！夏や 2 学期の過ごし方。

是非参考にして自分の勉強を充実させよう！！

座談会に来てくれた先輩方のお言葉（一部抜粋）

※写真は合格発表時や合格の軌跡の写真など

ぼくはスタートのクラスがA9でその後A7。その後A4、A2って感じで上がってきたんですけど。下のクラスだからってあきらめないでください。

全然上のクラスに上がる機会だって最後の最後までありますし、しっかり諦めないで勉強し続ければ、いつか絶対、成績もクラスも上がるようになって合格に繋がるので、頑張ってください。それで、座談会という

事で、勉強面でアドバイスを。勉強する内容に関しては先生のいう事に従ってください。

先生方が口頭でおっしゃったことを聞き流さないで、メモした方がぼくは良いと思います。あの、僕はそれを、紫色で色別にしておっしょってノートに書いてたんですけど、先生がおっしゃったことって、ホントに出るんですよ。口頭で白板に書かなかったからって出ないわけでもないし、ぼくも実際それに本番で助けられたことがあったので。こういう問題形式のパターンもあるよねって言ったのをメモしてたら、ほんとに別のパターンが出たってことがあったので、先生のおっしゃったことは、ほんとにメモをしてたほうがいいと思います。

生活面に関しては、昼休みだらだら過ごさないで、勉強にどんどん時間回してください。みなさん昼休みはどのように過ごされてるのでしょうか。友達としゃべってご飯食べたりとかあると思うんですけど、僕はそれは一切していませんでした。昼休みって、すごいみんな油断って言うか、勉強してない時間が多いんですよ。なんですけど、そこで、昼飯とかも、ほとんど時間も取らずに食べて、友達と喋らずに、ぱって終わらせて、自習室に戻れば、すごい周りとの差がつけられます。で、その差をつけることで、上のクラスに上がれることができるんだと思います。なんでほんと、あの、ぼくは、浪人中に1分1秒でも多く勉強するってのがモットーだったので、皆さんもぜひ勉強して頂けたらなあと思います。

本番前のアドバイスなんですけど、本番前ってすごいみんな何したらいいんだろうって、迷うと思うんですよ。まあぼくはまとめの作業に最後の方は入ってました。最後の方に、試験本番前持っていくのって分厚いノートとかじゃなくて、ほんと最小限に抑えるつもりでいたので、英語はノート1冊ですし、数学はスタンダードのテキスト1冊物理はベーシックのテキスト1冊化学は有機化学のノート1冊でほんとに厳選して、持っていきましたね。で、テキストの最後の方はじゃんじゃん汚しちゃっていいと思います。もう使わないので。であの、そこに自分の忘れかけてた公式とか、あのここ危ないなあっていうような考えのプロセスのところとかを、メモしたり、付箋で貼ったりしてやると、すごい試験前にぱらっと見る程度なんですけど、ホントに気休めになります。なんで、最後の時期は新しいこととか手を付けずに、ぼくは、石井先生に、言われた赤本は一切手を付けなかったんですよ。あのほんとに、まあ最後の方に、石井先生の面談もあると思うんですけど、石井先生のいう事に従って、あとはもうほんとに新しいことは手を付けずに、まとめの作業とか、今までの確認にあてたらなと、思います。

ええ最後になりますけど、みなさんほんとこれから、クラス上がる方も、いると思うんですけど、ホント最後まで、気を抜かずに、頑張ってください。あきらめないでください。以上です。

田中 瑠くん

学習院高等科卒

杏林大医学部進学



矢島 瑞己 くん

早稲田実業学校卒

昭和大医学部進学



自分は1浪で、昭和に入って、まあえっと、この時期やってた勉強を話したいと思います。まず1つ目が緒方先生。生物なら緒方先生とか、化学だったら三上先生とかに言われると思うんですけど、**情報を1冊にまとめろってことを言われる**と思います。これは実際結構良くて、まず、**メリットとして、1つ目が、前期の内容を復習することになる**と思うんです。

ちゃんと思出しながらやれば、すごいいい復習になるし、2つ目のメリットで、後期時間が足りなくなると田中君も言ってたんですけど、後期ホント時間がないんです。なんで、試験、隙間時間とか試験、マンスリー前とか、入試の直前とかに、そういう資料集とか、ハンドブックとかまとめられたものがあると何回も見ること、**すごい効率よく勉強ができる**んですね。何回も見ることができるから、まあ反復がしやすいということでしょう。

2つ目としてはやはり先生から言われたものは、セミナーとかテキストとかあると思うんですけど、まあそれを、めちゃくちゃやりまくることだと思います。結局は量だと思うんで。まあその際、点数も大事かもしれないんですけど、どれだけできなかった、自分が出来なかった問題が出来ようになるかが、入試にというか今後生きていくと思うんで、それはほんとやってほしいですね。普段から問題解く時に、自分がどこが分かってないのかをしっかりと考えながら、注意してやりわかんなかったら、先生に聞くっていうサイクルを繰り返せば、絶対学力は伸びてくるはずなので、それはやって欲しいです。先生に聞きにいけば、疑問点が早く解決するだけじゃなくて、先生と話す機会がすごい増えますよね。そうすれば、結構先生とも仲良くなれるし、先生からも気にかけてもらえたり、自分の場合だと深瀧先生だったんですが、先生にあんまりマンスリーで悪い点とって失望されないようにしようとか目標を設定できたし。厳しい先生に付くのも良いと思います。

この時期たぶん単科とか悩むと思うんですけど、選ぶ上で重要なのが苦手分野…夏は苦手分野の克服が大事なので、そういう単科を取って、結果マンスリーで総合点が上がるように。どれが一番あがるかってのを考えながら、考えて、優先順位つけて取っていく事が大事だと思います。自分の場合は、化学と生物が、ほんとに出来なくて、とりあえず、構造決定。あと考察？まあ自分の場合は、日医目指してたんで、考察とか、あと・・・小問も結構不安あったんで、小問取ったり、あと、数学の別解。ベクトルとか積分とか、そこらへんをとって、まあ、苦手の克服をしました。苦手の克服をこの夏の時期やりました。

あと、Mクラスでも、やっぱ来なくなった人って、受かってるイメージ無いんで。絶対塾に来ることも授業も削らず、ホント、して欲しいと思います。朝早くくれば、周りもやってるんで、もうずっとやる環境ですし、ほんとそれだけは、徹底してほしいです。あとは、まあ最後になるんですけど、あの、この環境はほんとに周りも同じくらい、同じレベルの位の人がまあ、身近にいて、あの、死ぬほど頑張れる環境だし、朝も開いてるんで、あの、一年間、まあ、精一杯全力でやってください。以上です。

昭和大学に進学した伊藤ゆりなです。

たぶんみなさんは、ほんと2号館行きたいとか、上のクラス行きたいとか、多分思っている人が多分多いと思うんですけど、2号館の人と本館で何が違うかっていうのを考えると、ほんと1つしかなくて。苦手科目が2号館の人はないか、あるとしても1科目？っていうことだと思います。

で、まあ苦手科目があったら、そもそも受からないです。うん。絶対に。たとえどんなに得意科目が、ずば抜けてい

たとしても苦手があったら、上位校は無理だし、なかなか受かりにくいんじゃないかなって思います。で、苦手科目って言うのは、マンスリーで、偏差値55無い科目だと私はずっと思って、やってみました。

55以上あったらまあ、4科目の中で自分は取れてないなあってくらいで、とらえるのは全然いいと思います。でも、55無いと「人並み」ぎりあるかないかくらいで、もう入試本番も、たぶん全然足引っ張っちゃって、いい、うまく結果が出せないの、とにかくマンスリーで全部の偏差値55以上取ること为目标にしてください。

で、私がやってた苦手克服勉強があるので、ちょっと簡単にお話します。私は現役の時に英語と数学が超苦手で、浪人してから、その2つを克服しようと思って1年間やってみました。で、数学が、一番伸びて、現役の時の女子医の合格開示が、数学21点だったのが、浪人して、自己採点したら80点。1年で伸びたその勉強法は、とにかく予習を大事にしました。私は1年間予習に絶対に時間を費やす。予習は絶対にやって行っていました。予習をすることで、考える練習っていうか、頭の引き出しを、とにかくばんばん引き出して、それで、本番に備えていく、っていうことを、やってみました。英語は、正直私はあんまりでしたけどなんで、あんま偉そうに言う資格はないんですけど、単語は本当に大事だと思います。私は、単語をおろそかにしすぎて、10月くらいに単語力ないってあせってそこから4ヶ月で1冊覚えるっていう無謀な作戦に出してしまったので、そういうことが無いように、今の内に何でもいいです。なんでもいいから、今のうちに1冊確実に仕上げてください。化学は、有機化学は、おそらく満点取らないと本番受からないと思います。もう絶対できる人は完答してくるので、負けないように、有機は仕上げてください。生物は、暗記ですね。もう覚えるのと覚えなきゃ始まらないので、うん。だれてないで、早く覚えてください。以上です。

えっと、それで、後このクラスって二極化してると思うんですよ。もう上行きたいか受かりたいって頑張ってる人と、ちょっとだらけちゃってる人？ほんとにこの位置、死ぬ気でやらないと受からないです。ほんと。思ってるより、メッチャ厳しい世界なので、あのもう。休み時間喋っちゃったりとか、自習室で寝てる人は、もう多分、今年無理なんで、明日から、てか今日から、心入れ替えてやってください。

伊藤 友梨那 さん

立教女学院卒

昭和大医学部進学



山本 百合 さん

桐朋女子高校卒

東邦大医学部進学



東邦大学1年の、山本百合です。きょう皆さんに話したいことが3つあって、あたりまえだし、みなさん先生方に言われているかもしれないけど、苦手な科目こそ、ここのテキストを、ちゃんと完璧にした方が良くと思います。私は、数学がほんとにできなくて、苦手だったんですけど、苦手だからこそ、いろんな参考書とかに手を出したくなるんですけどこの1学期のテキストだけを完璧にして、先生から、「これもやった方がいいよ」って言われるテストゼミとかの復習だけして、試験にのぞんでも、苦手科目だけそれなりに点を取ることはできたので、やっぱり、苦手

からこそ、ここのテキストを大切に何回もやった方が良くと思います。2つ目は、マンスリーとか受けて、じぶんがランキング載ったとか、満点だったとか、すごい点数を気にすると思うんですけど、そうじゃなくて、点が悪くても、何でここ取れなかったんだろうとか、自分がマンスリー終わった後に時間が足りなくて解けなかったのかとか、ほんとに知識が足りなくて解けなかったのかとかをしっかりと、自分なりでもいいので分析したほうが良くと思います。私も結構最初の方は、ライバルの子に負けたとかばっかり気にしてたんですけど、石井先生に相談しに行ったときに、もっと自分を分析したほうが良いってことを言われて。そっからマンスリーが返って来たら、もう一回時間制限なしでマンスリー解き直して、自分がどうして取れなかったのかをちゃんと分析するようになったら、成績もそれなりに伸びていったので、ちゃんと自己分析したほうが良いと思います。

3つ目は、入試期間中の話なんですけど、最初の方の学校を落ちて、1日1日で切り替えて、どんどん続けていった方が良くと思います。私も最初愛知と岩手一次でも落ちて、周りは結構受かって、ほんとに辛くて、また去年みたいに、全部落ちちゃうんじゃないかって、思ったんですけど、それをその可否発表が出た一日で、忘れて、もう次の日から、ちゃんと試験受けていったら、段々結果が出るようになったので、最後まで、あきらめずに、ちゃんと試験受けた方が良くと思います。がんばってください。おわります。

まず皆さん思うんですけど、最初のクラス分けのテストめっちゃむずくないですか？僕最初受けた時にあまりの取れなさに、ちょっとなんか本気でやべえって思って、そのほんとに塾間違えたかなって、思うくらい、まあ難易度だったんです。問題が。それで、まあ、多分ここにいる人たちは、クラス分けで、失敗しちゃってここにいると思うんですよ。それからマンスリーどんどん取って行けば、クラスは上がると思います。とりあえず、マンスリーを取ることに意識をむけてやっていった方がいいと思います。てか受験ってまだ、半年も先じゃないですか。半年先なかったら何が起るかわかんないし、また大震災起こって受験なくなるかもしれないし、コロナのせいで、どうなるかわかんない。とりあえずね、目の前の目標に向かって一生懸命やるってこと大事だと思います。毎月、毎月。マンスリーは、とりあえず、授業の中から出るんです。やっぱり授業をちゃんと受けて、努力して習得した人にとってほしいっていう思いも先生方には絶対あると思う。まず絶対に授業はちゃんと受けること。しっかりノートも取って、あのお、どうしても、がんばっても眠くなっちゃう時あると思うんですけど、授業中は絶対に寝ない。寝るなら自習室で寝る。うん、もう絶対眠くなっちゃう人だったんで自習室で寝てましたね。たまに起こされましたけど（笑）そうだなあとは、うん。ぼくすごい数学が得意だったんで、数学の点の取り方というか、を言いますと。まあ数学って簡単な問題から難しい問題まであるですよ。絶対に、点を取りたかったら簡単な問題で落とさないことなんです。難しい問題は、もうどんな天才でも取れない問題もあるし、すごい長い計算だったらそれこそ飛ばした方が点上がるものもあるからまず簡単な問題から確実に取る。そのためには、見直し？をすることが大切です。まず、答えがでたら、すぐに、入れてみる。あ、 X がでたら、その X に代入して式が成り立つのかとか。まあ確率とか積分とか、難しいと思うんですけど、それ以外の極限とかだったら、絶対あり得ない値だったらやり直す。いやこれ絶対間違ってるんだろと思ったら、その勘を信じてやってみること。答え出たら時間がないからと思っても、その問題落としちゃって最終的に点数下がることになるんで。まあ正直数学って時間力ツカツなんですけど、難しい問題に割くよりも、時間を割くのはより簡単な問題。しっかり見直して、絶対にあってるって確信して進んだ方が僕は点が取れるようになると思います。で、まあ化学は、僕は、高校の時からずっと、1冊の参考書っていうか、資料集を読んで。資料集って写真多いじゃないですか。写真多いので理解しやすいんですよ。なんかカラフルなものを僕は読んで、頭の中に。例えば、結構色があるって重要で、化学で色答えるじゃないですか。なんか色の名前だけ暗記するのって正直僕苦手なんです。色名をわざわざ暗記するんじゃなくて、写真みて、あ、この色なんだろうどんなやつだったら、水溶液なんかだったら青だったなあって青って覚えるんじゃなくて青色の写真を覚えることで、青って書けるようになるんですよ。イメージにつなげるっていいことだと思うんで、一度ものは試して言いますし、一度資料集で見てみて下さい。



今泉 力さん

日比谷高校卒

昭和大医学部進学

私は、現役の時日大しか一次が通らなくて、浪人でここにきました。結果として、私は一次が9校でて2次棄権が2校、正規が5校でたんですけど、その中で家に近かった杏林に行く事にしました。私は、マンスリーテストに結構波があって、英語と化学が苦手だったので、1年を通して、ずっとマンツーマンを取ってました。数学と物理は結構得意だったんですけど、もっと伸ばしたいなあと思って、冬からマンツーマンを取るようになってました。なんか自分で自習室に座っててもあんまり集中できないみたいなそんな感じの人は、私はそうだったんですけど、マンツーマンを取ればいいなと思ってて、でやっぱり、自分でやるっていうタイプじゃなかったら、やれば伸びるので、マンツーマンを取ることをおすすめします。あと、「この先生じゃないとやだ」じゃなくて、「どの先生にも、色んな質問とかして、教えてもらって、吸収できる」というのがすごい良いことなのかなと思ってます。あとは、私は石井先生の授業はいつも一番前に座ってて。そのやっぱり、石井先生の授業だけじゃないんですけど、前の方に座ると、やっぱり、よくあてもらえるようになったりとか、緊張感とかモチベーションも高まると思うので、前の方に座るのは、結構オススメです。あと…あと…やっぱり、今の時期とかって、自分の苦手科目を伸ばそうってのは、多分みんな思うと思うんですけど、その苦手科目ばかりやっていると、得意科目が、忘れていくので、その得意科目も、忘れないように、それも同時並行でやっていくのが、大事だと思います。マンスリーで、100点取ろうとかじゃなくて、ここを落とすと、みんなと差ができちゃうとか、みんなが取れてる所を落とすと、やっぱりそこで差が少しずつ、どんどん生まれてくるので、落としちゃいけないっていうところを、落とさないことが凄い大事だなあって思います。あと、私はメンタルがほんとにやられたりとか成績が伸び悩んだときは、石井先生のところに相談に行かせていただいて、的確なアドバイスを頂きました。最後に、みんなも言ってる通りに、先生の言うことを聞いて、配られてる教科書とセミナーを繰り返し解いて、ウィークリーとマンスリーを本気でやるのがほんとに大事だと思います。あとは、ほんとに休まない方が良いと思います。授業切るとそのままだらけて絶対受からないので、絶対に全部の授業私は出て、1回1日も休んだことないです。それをあきらめないでやれば受かるので頑張ってください。終わります。

石川 倭子 さん

白百合学園卒

杏林大医学部進学

自分はここに居る人の中で一番ポンコツで、A10 から始まって、ここにいるみんなと同じクラスだったんですけども、このクラスにいたからこそ言えるアドバイスを。みんなは得意科目は無いはずで。

多分マンスリーテスト総合点 100 点とかの人達がいるクラスだと思うんですけども、一番やるべきことは、得意科目を完全に一つ作る事です。

自分は代官山に来る前までは偏差値が全国模試偏差値 40 くらいで、英語とか 30 未満でしたが、ま普通にひどいんですけど、で、この代官山に 1 年居ればかならず受かります。あのお、間違いないです。一次必ずとれます。そのために得意科目を作る。自分は、化学が一番好きで。ここに来た時は化学全然得意じゃなかったんですけど。どうやって化学を伸ばしたかという、あの 1 つ目は、どれか必ず 1 つどれをみても分かるっていう 1 冊を持つことです。2 つ目は、あの先生の授業で、必ず解き方をやるはずですよ。ある問題を出して、こうやって解くんだよって感じで、それをまず一旦全部移してノートに。で、実際自習室で解いた時にセミナーでも、ここのテキストでもなんでもいいので、それを解くときに先生と同じ解き方を、全く同じ解き方、やり方をする。で、それをやってから、それを何回も繰り返す。その同じやり方で。もちろん違うやり方も教わったり、問題出たりもすると思うんですけど、それも全く同じやり方をします。浸透圧でも、三上先生とか、龍先生とか、違うやり方すると思うんですけど、1 回全部まるっきしそれぞれのやり方でして下さい。でやった後に、自分で、やりやすいようにその自分なりに、変更する。先生のやり方その先生のやり方がいろいろあるのでもいいとことって自分なりにする。で、化学は、理論化学でも、有機化学でも、あの必ず、解き方に型が無いと無理です。で、この問題きたときこの問題はこうだ。こういう解き方をするんだってそこまできないと、絶対化学は得意にならないので、まあ化学、ここに居る人たちは基本的に出来てないと思うので、おすすめします。夏のあいだでも間に合うので。あのお 12 月になったときに、この問題はこれで解くんだっていうのを作っておいてください。

自分は英語が一番苦手だったんですけど、苦手な人に。今からでも間に合うので必ず単語帳を作ってください。マンスリーいや、マンツーマン取ってない人にも先生に単語テストやらせてくださいって言えば、必ずやってくれるので、必ず先生に単語テスト毎週 100 分 50 個でもいいので、覚えてそれまでに間に合わせる。あと、2 つ目は、文法を基礎のところを完璧に。学校でもらったフォレストでもいいのでボロボロにする位。先生がその文法の単元来た時に、「ああこのページだわあ」って分かるくらい、やってください。数学は、村上先生とか受けてると思うんですけど、多分夏の間は前期のコピーしてやれって言われると思うんですけど、このクラスの人達はたぶんやり方をまず型をついてないはずなので、まあこの問題こうくるよねっていう、微分積分でもその単元とか必ず自分の型ができるようにしてください。生物は、まず出来てない人は、まあまず生物用語を覚えてもらって、暗記して、あとは考えること。何でこの事象こうなるのかとか、なんか、考えながらやってみてください。あと思考力大事です。

自分は 1 浪目の時、宅浪だったんですけど、ここの自習室の何が良かったかというと自分だけの自習室なんです。他の予備校だと、色んな人が貸し借りするので、自分の自習室って持ってないんですけど。自分だけの自習室なので、もう壁になんか戦士のアドバイスとか貼りまくってました。別に恥ずかしいと思ってても、正直、2 学期とか、マジになったらそのどうでもよくなるので、とにかく、忘れてることとかあったら貼りまくってたっすね。そういうことができる環境を生かしてください。もう机多分今なんか木の模様が全然出てる人いっぱいいると思うんですけども、もう気にせずに付箋とかはりまくって。それを順調に続けて、まあ、入試になった時は意地でも、最後まであきらめなす。とにかく、あきらめない。その自分も愛知と岩手 1 次来たけど、岩手 2 次落ちしたんですよ。で絶望したんですけど、とにかく諦めないで、杏林受かったんです。結局最後は、2 次の、2 次の受かったの杏林しかなかったんですけど、愛知来なかったんですけども、諦めたら、多分杏林も来なかった。1 年目の時、東京医大 1 次受かったんです。で受からなかったんです。2 次の時最後まであきらめずにやっていけば受かったかもしれないって言う後悔があるんです。でとにかくあきらめない。で、2 次試験も断らないでください。とにかく。そのたぶん、今小論文どうでもいいとか思っている人、課題出してない人とか居ると思うんですけども、絶対休まないでください。絶対後悔しますんで。ここに居る人はとにかく、受かりたいんだったらそういう風にして下さい。であと、目標が無いっていう人がいると思うんですけど、一応あの時の自分の目標言っときますけども、マンスリーのランキングに名前を載せるです。とにかく、あの、その 12 月までに、マンスリーの目標は、必ず、総合のランキング 1 回は載る事。で、夏までに、その目標にすべきことは、得意科目 1 回でも、化学でも生物でも、ランキングに載る。1 回くらいは載ってください。それ最低条件なので、それができないと、絶対受かんないです。とにかくこのクラスの人達で、今やるべきことは、総合順位、1 科目でもランキングに載ることです。ここの今受かって話している人達、多分順位に載っていることがあたりまえの人たちがいっぱいいるんですけど自分は、最初まったく伸びなかったんですけど、とにかくこのクラス総合順位載ることが目標でやりましたけど、そんなの無理だって思わないで、ください。むりつつうか、載んないと受かんないので、ほんとに載るように頑張ってください。とにかく、その総合のランキングのるように。12 月ぎりぎりでもいいので、それ目指してがんばってください。以上です。



永川 太暉 くん

広尾学園卒

杏林大医学部進学

私2年生なので、フレッシュさには欠けるんですけど現役で進学したので、参考になるか分かんないんですけど、まず、3つあって、1つ目が得意科目とか不得意な科目とかあると思うんですけど、そういうのに限らずに毎日全科目やる事は結構大切だと思ってて。私の場合、物理が滅茶苦茶苦手でした。ほんと幼稚園レベルに苦手だったんで、ほんとに、それは、セミナーの基本問題からめっちゃやったのと、英語は結構好きで、河合の記述模試みたいなやつとかは



荒井 陽菜穂さん

田園調布雙葉卒

埼玉医科大進学

偏差値78とかとってるくらいホント自信があったんですけど、それで、英語やらなかったら絶対落ちると思ったので、英語に関しては、自分ができるのに甘えずに、毎日長文読んで、長文読んでるとイディオムとか、語彙とかって自然とは言うてくるんですよ。で、これ分かんないなっていう単語とかもなんか、その時調べれば、学習できるし、で、そうやって長文で学習したのを、私は、青葉先生にもらった英作文をやって、で、それを毎日、3・4個、必ず毎日やって、毎日青葉先生に見せに行ったりしてたんですけど、それをやることによって、長文で覚えた単語とかイディオムとかがその作文でアウトプットできるんですよ。で、いくらインプットしてもアウトプットできなきゃ、てか、パッと見た時にわかんなく、絶対意味ないから、アウトプットの練習も大切だと思ってて。私は、そういう風にして、不得意とか得意とかに限らずに毎日ちゃんとやるのが大切だと思います。で、2つ目は、先生のいう事を本当に、本当にちゃんと聞いた方がいいってことで、なんか私、化学とかも最初めっちゃくちゃ苦手で、で、正直言ったら私、9月とか、8月？まで、学校推薦で医学部狙ってたんですけど、なので学校の勉強しかやってなかったんですよ。基本的に。で、その、で学校の北里の推薦を狙ってたんですけど、学校が指定校とれなくて、その北里の推薦枠が、突然消えちゃって。それで、やばいと思って、一般の勉強を本当に、本腰入れてやったんですけど、なんか、その時に周り、なんか学校の周りの人とか、応用とかめっちゃ解いてるんですよ。化学のセミナーの応用とか、で、学校に限らずともなんか周りの人が、なんか自分ができない問題をやってるとすごい不安に思うと思うんですけど、なんかそれで、ちょっと間違っって応用を手を伸ばしちゃったんですよ。そしたら三上先生にめっちゃくちゃ怒られて「今は絶対に基本だけ何回もやれ」っていわれて。正直それ不安だったんですよ。周りが出来てる難しい問題が自分が出来てないしやらないっていうのが。なんだけど、まあ仕方ないと思って、ずっと基本やり続けていたら、年末くらいから、なんか応用を見てら、考えたらちゃんとなんか分かるようになって。で、だからなんか、基本問題を何回も何回もやったことによって、応用がさらっと解けるようになったんですよ。それで、だからほんとに先生のいうこと聞いて、やれば、絶対伸びるし、なんなら化学のマンスリー最後、一番最後のマンスリーちょっと失敗しちゃったんですけど、でも、自分的にその後の1月とかも、すごいめっちゃのびて。入試の時めっちゃくちゃいい状態で、もってけたので、なんかそういう、先生のいう事をほんとにちゃんと聞いて、勉強するっていうのは、大切だと実感しています。先生はちゃんと見ていてくれるのでその通りにしてください。あと3つ目が、今夏だし、なんか、これからどういう風に過ごしても、受験の会場に行く日はやってくるんですよ。その過程で、自分がどのように過ごしたかで、絶対自分の自信にもつながるし、絶対結果にもつながるから、自分に甘ったれることなく、あの、強く頑張っしてほしいです。